

令和7年度 中学生の「税についての作文」

沖縄県納税貯蓄組合連合会会長賞 税は未来への投資

宮里中学校 兼城 蓮

私の将来の夢は薬剤師になる」とです。幼い頃、風邪をひいた時に薬剤師さんが薬の説明や早く治すためのアドバイスをしてくれました。薬を飲んだ後、頭痛も治り、熱も下がつてとても楽になり、薬を調合した薬剤師をかつこいいと思い、その姿に憧れました。私は病気で苦しむ人を一人でも減らし、多くの人が健康に生活し、働くことができる社会になるよう薬剤師として支えたいです。しかし、県内には薬剤師の資格がとれる大学がありません。県外の大学の薬学部で六年間勉強する必要があります。六年間の学費、生活費は中学生の私から考えて莫大な金額です。国公立の大学で一年間で九十万前後、私立大学で二百万あまりの金額が六年間かかります。私の家庭環境でそれらのお金を負担する」とはとても厳しいです。薬剤師になるために学ぶ努力はおしません。でも経済的な問題は自分之力で解決できません。夢は諦めたくないです。私は修学支援制度という奨学金があることを知りました。修学支援制度は大学の入学金、学費などの費用を援助してくれる制度で生活費も給付されます。大学生に支給される修学支援をはじめとする奨学金は税金から支払われていることを知りました。文部科学省の予算のうち、約四分の一が奨学金にあてられています。その金額は約一兆三千九百九十億円で、

ジャングリア沖縄の総費用の約二十倍の額であります。大きな金額です。税金を納めることが大切だと心の中ではわかつていてもできるなら払いたくないと考えている人も少なくないと思います。その理由はニュースなどでも報道されるように国民が汎水流して必死に働いて納めた税金を政治に関わる人が無駄遣いしたり、税金が不正に使われているからだと思います。税の無駄遣いを厳しくチェックし、政治家が国民の生活を豊かにするための政治を国民に示し、行う」とによつて税に対する向き合い方が前向きになるのではないでしょ

か。税金は奨学金以外にも毎日使う学校の校舎や一人一台配布されるタブレットなどに使われています。病院代も薬代も税金です。その他に道路、図書館、公園などにも税金が使われています。もし税金が無くなるとこれらが利用できず、私達の生活は成り立たなくなると思います。私達が健康で安心して暮らせる社会を支えているのが税金だと奨学金について調べたことをきっかけに実感しました。奨学金は夢を叶えるために必要不可欠な税です。私は経済的に厳しくても奨学金という大きな味方を得て「薬剤師になる」という夢の実現に向けて頑張ります。大人になつて働いた時に「税金をとられるのは嫌」と思うのではなく、私が納めた税によって夢を叶えられる人がいることに思いをはせ、税金を納めることができる事を誇りに思える大人になりたいです。